

まちの話題

11月21日から23日までの3日間、第30回大崎バルーンフェスティバルが、岩出山あつたか河川公園を会場に行われ、全国から参加した27機のカラフルな熱気球が、大崎の空を彩りました。30回記念として、夜間にバーナーの炎で熱気球を明るく灯す「バルーングロウ」も行われ、音楽に合わせて暗闇に明滅する熱気球の大きな機影に、会場から歓声が湧き上がりました。

30回目の開催を記念して
バルーングロウを披露



めったに見られないバルーングロウ。次は何年後に見られるかな

11月21日、松山公民館で「きょうDo! (協働)のまちづくり文化祭」が開催され、まちづくりに関心のある約120人の皆さんが参加しました。中学生や高校生の発表、地域自治組織のパネル発表などが行われたほか、「フルトカフェ」という話し合いの手法を用い、カフェのような気軽な雰囲気の中で、地域の課題解決に向けた多くの意見が出されました。

協働のまちづくりのため
みんなで話し合いを体験



4人1組で「未来の地域を担う若者のチカラとは？」について話し合いました

11月21日、加護坊パークゴルフ場に電動モノレールが設置されました。北海道から九州まで83件の応募があったモノレールの愛称には、田尻地域の橋本泰志さんの「さくらシャトル」が選ばれました。「加護坊山の顔は桜並木、その中を短距離で往復を繰り返す」ことから考案したそうです。入場者100万人を達成したパークゴルフ場の、さらなる発展が期待されます。

加護坊山パークゴルフ場に
「さくらシャトル」が登場



うめコースを背に、さくらコースへゆったりと移動することができます

12月15日、古川農村環境改善センターで正月用の雑煮もちづくり講座が行われました。古川農産加工クラブの会員が講師となり、講座に興味がある約20人の皆さんが、地元古川産の食材を使った雑煮や豆腐などの作り方を学びました。参加者同士の交流を通して、地域の郷土料理を学ぶ絶好の機会となりました。

正月料理をおいしく学ぶ
雑煮もち作り講座



ダイコンやゴボウなどのひき菜を使用した具だくさんの雑煮を作りました

登録有形文化財（建造物）
新規登録

文化財課保護担当 ☎ 72-5036

平成27年11月17日、「森民酒造店」（岩出山地域）の下記8件の建造物が、新たに国の登録有形文化財（建造物）となり、市内の登録有形文化財は合計29件になりました。

森民酒造店は、明治16年創業と伝わる酒造店で、創業当時から昭和にかけての建造物が敷地内に建ち並び、各時代の生活の様子をよく示していることから、この地域の歴史的景観に寄与しているとして、登録になりました。

登録された建造物

建造物名称	建設年代
森民酒造店店舗兼主屋	明治16年頃
森民酒造店居宅	大正期
森民酒造店奥座敷	明治後期
森民酒造店離れ座敷	昭和10年頃
森民酒造店釜屋	明治16年頃
森民酒造店酒造蔵	明治16年頃
森民酒造店北土蔵	明治後期
森民酒造店煙突	昭和前期

小・中学生平和作文コンクール入賞作品発表

政策課政策企画担当 ☎ 23-2129

市では、平和事業の一環として、子どもたちの平和に対する思いや考えを発表する「小・中学生平和作文コンクール」を毎年実施しています。

平成27年度は、336作品の応募があり、右表の皆さんが入賞しました。入賞作品は冊子にまとめ図書館へ配架するほか、市ウェブサイトに掲載します。



小学生の部で受賞した皆さん



中学生の部で受賞した皆さん

小学生の部 応募総数 44作品 (12校) 敬称略

賞	学校名・学年	氏名	題名
最優秀	古川第四小6年	ふじもと れお 藤本 玲央	ぼくにできること
優秀	下伊場野小6年	わたなべ はると 渡辺 遥斗	平和な世界
	鹿島台小6年	やくわ えいと 八畷 瑛斗	平和を願う
	岩出山小5年	いしの おとめ 石野 音天	戦後七十年を迎えて…平和とは…
	田尻小6年	たけだ ゆか 武田 結佳	平和と戦争

中学生の部 応募総数 292作品 (9校) 敬称略

賞	学校名・学年	氏名	題名
最優秀	古川北中3年	とべ ゆうき 戸邊 優希	曾祖父の言葉
優秀	古川東中1年	おおめま だいゆう 大沼 泰優	平和への思い
	古川東中3年	たかはし はるき 高橋 青輝	本当の幸せとは
	古川南中2年	ちば みわ 千葉 美和	忘れない
	松山中2年	さとう はやせ 佐藤 迅晟	平和を考えると

第2回地熱講演会 in 鳴子温泉

産業政策課新産業・グリーンエネルギー推進室 ☎ 23-2281 FAX 23-7578
Eメール sangyo@city.osaki.miyagi.jp

有識者による地熱・温泉熱に関する講演と、鳴子温泉地域の地下構造などを調査した「鳴子温泉地域地熱資源開発調査」の状況について報告します。

日時 1月21日(休) 15時～17時(受付開始14時30分)

場所 鳴子公民館

定員 先着100人

申込 1月15日(金)まで、ファクス、Eメールで申し込み(企業・団体名、住所、電話番号、ファクス番号、Eメールアドレス、参加者名を明記)

■講演 15時

演題 「地熱による地方創生～北日本地熱立国論」

講師 弘前大学北日本新エネルギー研究所

所長・教授 村岡 洋文 氏

産業技術総合研究所地熱資源研究グループ長などを経て、2010年より弘前大学北日本新エネルギー研究所教授、2013年より同研究所所長。元IEA地熱実施協定日本代表。



■報告 16時20分

内容 独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) による採択事業「鳴子温泉における地熱資源開発調査事業について」

報告者 地熱エンジニアリング株式会社東京事務所
所長 荒井 文明 氏

■情報提供 16時40分

内容 再生可能エネルギーに関する補助事業などについて

説明者 経済産業省東北経済産業局・宮城県



電磁探査の様子



電磁探査の様子